

自動車使用管理実績報告の集計結果（平成 27 年度実績）

大都市地域における窒素酸化物（NOx）及び粒子状物質（PM）の環境基準達成のため、自動車排ガス対策を強化する必要性などを背景に、平成 13 年 6 月に「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法」（略称：自動車 NOx・PM 法）が制定されました。

この法律では、1つの都府県の対策地域内で 30 台以上の対象自動車^{*}を使用する事業者（特定事業者）は、事業活動に伴い自動車から排出される NOx・PM を抑制するための自動車使用管理計画を作成し、毎年その実施状況を報告することが義務付けられており、特定事業者のうち自動車運送事業者等^{**}以外の事業者は知事へ提出することとなっています。

このたび、平成 28 年度に大阪府へ提出された平成 27 年度実績報告書（計画期間 平成 23～27 年度）を集計しましたので報告します。

※ 対象自動車：乗用自動車、貨物自動車、バス、環境省令で定める特種自動車（軽、特殊自動車、小型二輪を除く。自動車の燃料の種別は問わない。）。

※※自動車運送事業者等：自動車運送事業者又は第二種貨物利用運送事業者（緑ナンバー車両）。

1 特定事業者の状況

H28 年度に報告書を提出した特定事業者数は 527 者であり、最も多い業種は「その他の卸売業」（37 者）、次いで「物品賃貸業」（30 者）、「化学工業」「その他の製造業」「その他の教育、学習支援業」（それぞれ 24 者）でした。

そのうち特定自動車^{*}（合計 65,018 台）を多く使う業種は、「物品賃貸業」（13,851 台）、「その他の事業サービス業」（6,955 台）、「自動車・自転車小売業」（5,765 台）などでした。

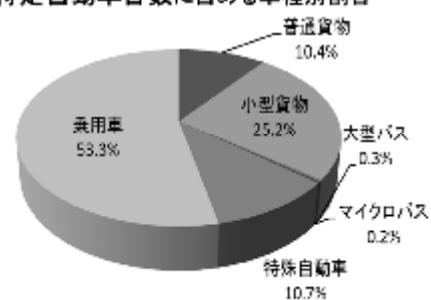
また、NOx・PM 排出量の多くを占める普通貨物車を多く使う業種は、「物品賃貸業」、「その他の事業サービス業」、「協同組合」などでした。

※特定自動車：同一都府県の対策地域内に使用の本拠を置く対象自動車。

2 特定自動車の状況

特定自動車（年度末時点の合計 65,018 台）の車種は、多い順に「乗用車」（34,651 台）、「小型貨物自動車」（16,354 台）、「特種自動車」（6,927 台）、「普通貨物自動車」（6,738 台）、「大型バス」（194 台）、「マイクロバス」（154 台）でした。

特定自動車台数に占める車種別割合



そのうち「小型貨物車」と「乗用車」では「平成 17,21 年基準排出ガス 75%低減レベルのガソリン・LPG 車」が最も多く、また、「普通貨物車」では「平成 21,22 年規制適合軽油車（ディーゼル車）」が最多でした（表 1 特定自動車の車種・燃料別の台数と NOx・PM 排出量）。

一方、「特種自動車」については「平成 17 年規制適合より前のディーゼル車」（表 1 で「軽油（その他）」の区分）が最多でした。

表 1 特定自動車の車種・燃料別の台数と NOx・PM 排出量（H27 年度実績）

車種	燃料名	台数 (台)	NOx排出量 (kg)	PM排出量 (kg)	車種	燃料名	台数 (台)	NOx排出量 (kg)	PM排出量 (kg)
普通貨物	天然ガス(CNG)	39	239	0	マイクロバス	天然ガス(CNG)	0	0	0
	ハイブリッド(ガソリン)	2	0	0		ハイブリッド(ガソリン)	0	0	0
	ハイブリッド(軽油)	105	373	26		ハイブリッド(軽油)	0	0	0
	プラグインハイブリッド(ガソリン)	0	0	0		プラグインハイブリッド(ガソリン)	0	0	0
	電気	6	0	0		電気	0	0	0
	メタノール	0	0	0		メタノール	0	0	0
	燃料電池	0	0	0		燃料電池	0	0	0
	ガソリン-LPG(17,21年基準75%低減)	83	22	0		ガソリン-LPG(17,21年基準75%低減)	1	1	0
	ガソリン-LPG(17,21年基準50%低減)	170	90	0		ガソリン-LPG(17,21年基準50%低減)	56	46	0
	ガソリン-LPG(その他)	562	800	4		ガソリン-LPG(その他)	18	93	0
	軽油(21,22年規制適合)	2,591	12,479	281		軽油(21,22年規制適合)	19	133	5
	軽油(17年基準0%低減)	913	12,299	246		軽油(17年基準0%低減)	0	0	0
	軽油(17年基準低NOx)	0	0	0		軽油(17年基準低NOx)	0	0	0
	軽油(17年基準低PM)	439	6,563	121		軽油(17年基準低PM)	9	142	2
	軽油(17年規制適合)	459	5,983	125		軽油(17年規制適合)	17	172	9
軽油(その他)	1,369	40,723	1,468	軽油(その他)	34	774	51		
(小計)	6,738	79,573	2,271	(小計)	154	1,361	68		
小型貨物	天然ガス(CNG)	113	9	0	特種自動車	天然ガス(CNG)	170	1,406	0
	ハイブリッド(ガソリン)	9	4	0		ハイブリッド(ガソリン)	31	7	0
	ハイブリッド(軽油)	1	2	0		ハイブリッド(軽油)	142	1,747	35
	プラグインハイブリッド(ガソリン)	0	0	0		プラグインハイブリッド(ガソリン)	0	0	0
	電気	1	0	0		電気	2	0	0
	メタノール	0	0	0		メタノール	0	0	0
	燃料電池	0	0	0		燃料電池	0	0	0
	ガソリン-LPG(17,21年基準75%低減)	5,748	1,510	1		ガソリン-LPG(17,21年基準75%低減)	553	93	0
	ガソリン-LPG(17,21年基準50%低減)	3,248	1,565	1		ガソリン-LPG(17,21年基準50%低減)	676	237	0
	ガソリン-LPG(その他)	2,382	2,596	3		ガソリン-LPG(その他)	892	757	0
	軽油(21,22年規制適合)	2,061	5,859	153		軽油(21,22年規制適合)	1,114	4,886	109
	軽油(17年基準0%低減)	511	4,182	84		軽油(17年基準0%低減)	841	10,277	206
	軽油(17年基準低NOx)	7	36	1		軽油(17年基準低NOx)	2	9	0
	軽油(17年基準低PM)	233	2,114	38		軽油(17年基準低PM)	281	4,282	83
	軽油(17年規制適合)	867	3,128	151		軽油(17年規制適合)	238	2,397	53
軽油(その他)	1,173	17,869	879	軽油(その他)	1,985	45,358	1,954		
(小計)	16,354	38,875	1,311	(小計)	6,927	71,455	2,440		
大型バス	天然ガス(CNG)	1	44	0	乗用車	天然ガス(CNG)	4	1	0
	ハイブリッド(ガソリン)	0	0	0		ハイブリッド(ガソリン)	10,237	2,024	0
	ハイブリッド(軽油)	0	0	0		ハイブリッド(軽油)	1	0	0
	プラグインハイブリッド(ガソリン)	0	0	0		プラグインハイブリッド(ガソリン)	125	11	0
	電気	0	0	0		電気	194	0	0
	メタノール	0	0	0		メタノール	0	0	0
	燃料電池	0	0	0		燃料電池	7	0	0
	ガソリン-LPG(17,21年基準75%低減)	1	16	0		ガソリン-LPG(17,21年基準75%低減)	21,450	4,435	4
	ガソリン-LPG(17,21年基準50%低減)	0	0	0		ガソリン-LPG(17,21年基準50%低減)	1,194	378	0
	ガソリン-LPG(その他)	18	73	0		ガソリン-LPG(その他)	1,227	594	1
	軽油(21,22年規制適合)	39	455	17		軽油(21,22年規制適合)	200	128	7
	軽油(17年基準0%低減)	24	383	8		軽油(17年基準0%低減)	0	0	0
	軽油(17年基準低NOx)	0	0	0		軽油(17年基準低NOx)	0	0	0
	軽油(17年基準低PM)	18	383	7		軽油(17年基準低PM)	0	0	0
	軽油(17年規制適合)	53	533	11		軽油(17年規制適合)	11	5	0
軽油(その他)	40	1,588	49	軽油(その他)	1	10	0		
(小計)	194	3,474	92	(小計)	34,651	7,584	12		
				合計		65,018	202,323	6,195	

※台数：平成27年度末時点の台数。
 ※NOx・PM排出量：平成27年度の特定自動車による排出量。

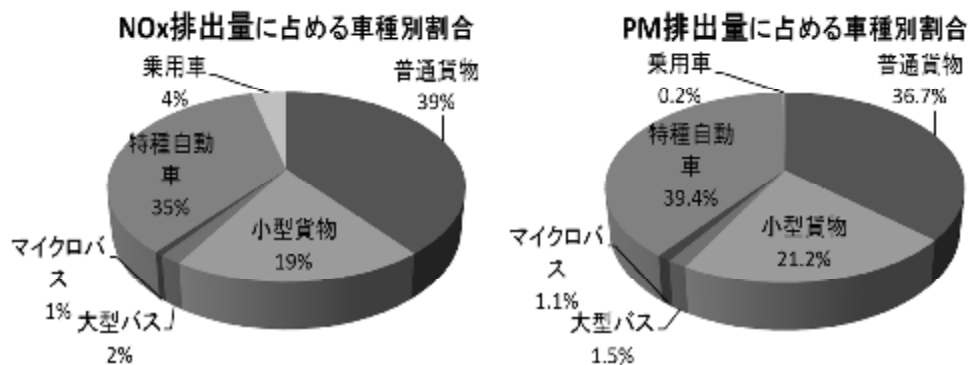
3 特定自動車から排出されるNOx・PM排出量の状況

平成 27 年度に特定自動車から排出された NOx・PM の排出量※合計はそれぞれ 202t 及び 6.2t でした（表 2 特定事業者の自動車台数と NOx・PM 排出量）。これは特定事業者が計画書で自主設定した「平成 27 年度排出量目標」（NOx 270t、PM 10.1t）を大きく下回る結果となり、全体としては自主目標を達成しました。

表 2 計画期間 H23～H27 年度における特定事業者の自動車台数と NOx・PM 排出量

	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
特定事業者数	565	560	557	555	527
特定自動車台数	61,390	63,693	63,147	64,638	65,018
NOx 排出量 (t)	307	272	247	221	202 自主目標 H27 : 270
PM 排出量 (t)	11.3	9.6	8.2	7.1	6.2 自主目標 H27 : 10.1

NOx・PM 排出量の多くを占めている車種は、「普通貨物車」や「特種自動車」でした。また、排出量の大きい業種は、「物品賃貸業」（NOx 55t、PM 1.5t）、次いで「廃棄物処理業」（NOx 38t、PM 1.1t）であり、この二業種で全排出量の半分近くを占めました。



※排出量の計算方法は環境省通知による。

4 特定自動車の低公害車等への代替状況

平成 27 年度における特定自動車の代替状況を、表 3 に示します。

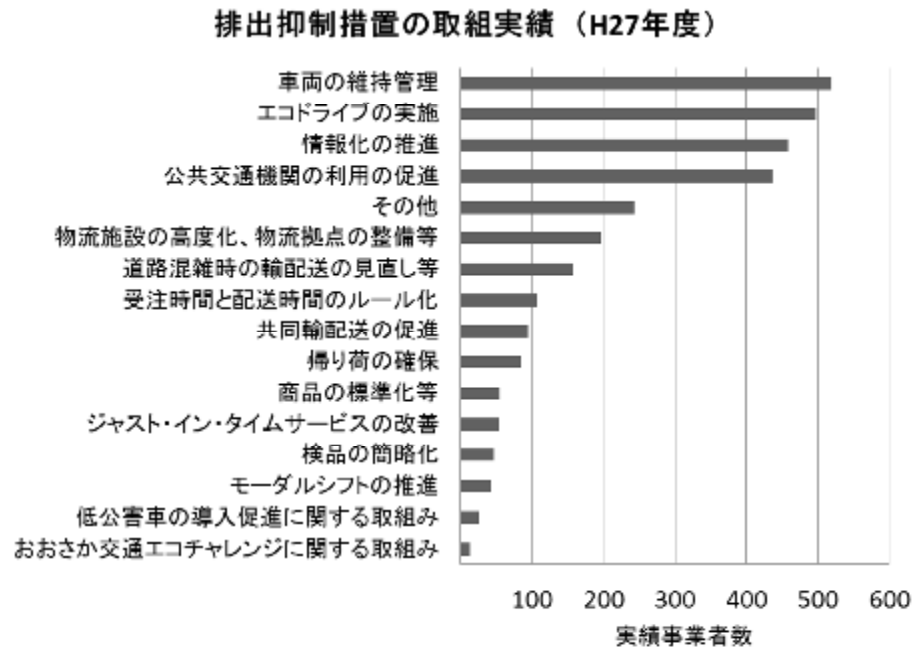
表 3 特定自動車の代替状況

燃料区分	平成26 年度末 台数	平成27年度					
		減少台 数	新規使 用台数	増減	前年度末か らの増減率	年度末 台数	
天然ガス	374	51	4	-47	-12.6%	327	
ハイブリッド	8,997	1,896	3,427	1,531	17.0%	10,528	
プラグインハイブリッド	140	33	18	-15	-10.7%	125	
電気	94	25	134	109	116.0%	203	
マニュアル	0	0	0	0	—	0	
燃料電池	3	0	4	4	133.3%	7	
L P G （ハイ ブリッド 除く）	17,21年基準75%低減	28,286	6,669	6,219	-450	-1.6%	27,836
	17,21年基準50%低減	5,516	1,300	1,128	-172	-3.1%	5,344
	その他	5,429	1,037	707	-330	-6.1%	5,099
（ハイブリッド 除く） 軽油	21,22年規制適合	5,189	479	1,314	835	16.1%	6,024
	17年基準10%低減、低 NOx、低PM	3,450	243	71	-172	-5.0%	3,278
	17年規制適合	1,520	146	271	125	8.2%	1,645
	その他	5,243	853	212	-641	-12.2%	4,602
合計	64,241	12,732	13,509	777	1.2%	65,018	

ガソリン、ディーゼル車とも「平成 17 年排出ガス規制より前」の排ガス性能車（表 3 で「その他」の区分）が減少するとともに、「ハイブリッド車」や「電気自動車」、ディーゼル車の「平成 21,22 年排出ガス規制適合」車が増加するなど、より低公害な車両への代替が進みました。

5 排出ガス抑制のための取組状況

排出ガス抑制措置として取組まれた事項は、実績が多い順に「車両の維持管理」(98%)、「エコドライブの実施」(94%)、「情報化の推進」(87%)、「公共交通機関の利用の促進」(83%) などでした。



そのうち、「その他」の取組みとして以下のような事例が報告されました。

- ・ 八尾市グリーン配送推進協議会への参加。
- ・ エコドライブ講習会を開催。
- ・ 安全運転講習会の実施。
- ・ 運転者認定制度、エコドライブ教育実施。
- ・ ドライブレコーダーの設置による運転状況把握の推進。
- ・ 車両代替時は極力ハイブリッド車導入。
- ・ カーシェアリング導入による車両の削減。
- ・ 環境報告書の作成
- ・ IS014001 の認証を取得。
- ・ エコアクション 21 等の環境マネジメントシステムの認証を取得。
- ・ IS039001 [道路交通安全マネジメントシステム] の認証取得。
- ・ 会社独自で CSR 活動実施、使用状況・燃費等記録。
- ・ 企業団エコアクションの進捗管理。
- ・ IS014001 認証は返上したが、独自の EMS を運用。